

こそだ ちゅう しみん みなさま  
子育て中の市民の皆様へ

ひがしむらやまし こ そだ しえん かん ちようさ  
東村山市子ども・子育て支援に関する調査

ちようさ きようりよく ねが  
～ 調査へのご協力のお願い ～

ひごろ しせい りかい きようりよく まこと  
日頃より市政にご理解とご協力をたまわり誠にありがとうございます。

へいせい ねん がつ ひとり こ すこ そだ ひと ほしよう めざ こ ちようさ  
さて、平成24年8月に一人ひとりの子どもの健やかな育ちを等しく保障することを目指す「子ども・子育て支援法」が制定され、各自治体が子ども・子育て支援のための具体的な「事業計画」を策定し、平成27年度から本格実施してまいります。

ちようさ じゅうみんきほんだいちょう なか しゅうがくまえ こ むさくくい えら ほごしや かた たいしよう ちようさ  
この調査は、住民基本台帳の中から就学前のお子さんを無作為に選び、その保護者の方を対象に調査のご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査結果をもとに、くに とうきょうと ひがしむらやまし へいせい 27 年度からの子ども・子育て支援新制度の計画をたて、必要な予算を確保します。保育が必要な子どもだけでなく、すべての子ども・子育て家庭を対象とした支援が含まれます。たいへん大事な調査です。

ちようさけつか けんとう りよう かいとうしゃこじん とくてい こ こ ないよう ほか  
調査結果は検討にのみ利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の内容が他に  
もれたり、他の目的に利用されたりすることは一切ございません。

つきましては、ご多用のことと存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

へいせい ねん がつ  
平成25年10月

ひがしむらやましちよう わたなべ たかし  
東村山市長 渡部 尚

かいとう ほうほう  
～ 回答の方法について ～

- とく ばあいがい あてな こ きにゆう  
1 特にことわりのある場合以外は、宛名のお子さんについて記入してください。
- かいとう えら あんない ばんごう するし  
2 回答は、あてはまるものを選び、案内にしたがい番号に○印をつけてください。
- すうじ じかん じこく きにゆう ばあい さんようすうじ じかんせい  
3 数字で時間（時刻）を記入していただく場合は、算用数字で24時間制  
(例：午後6時→18時)で記入してください。
- せつもん かいとう かた かぎ ばあい が  
4 設問によって回答していただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きにした  
がって回答してください。特にことわりのない場合は、次の設問にお進みください。
- きにゆう す てすう どうふう へんしんようふうとう い へいせい ねん がつ にち きんようび  
5 記入が済みましたら、お手数ですが、同封の返信用封筒に入れて平成25年11月15日（金曜日）  
までに投函してください。（切手を貼る必要はありません。）

ちようさひよう といあわ さき ふうとう らん  
※調査票についてのお問合せ先は、封筒をご覧ください。



ひがしむらやまし こ      こそだ      し え ん じ ぎ よ う け い か く  
**東村山市子ども・子育て支援事業計画**

ちょうさひょう  
**調査票**

みしゅうがくじょう  
**【未就学児用】**

回答するに当たってお読みください

東村山市では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度（以下「子ども・子育て支援新制度」といいます。）の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとされています（平成27年度から実施予定）。

本調査は、この計画で確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を市が算出するため、市民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行うものです。

なお、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではありません。将来の利用希望を変更していただいて構いません。

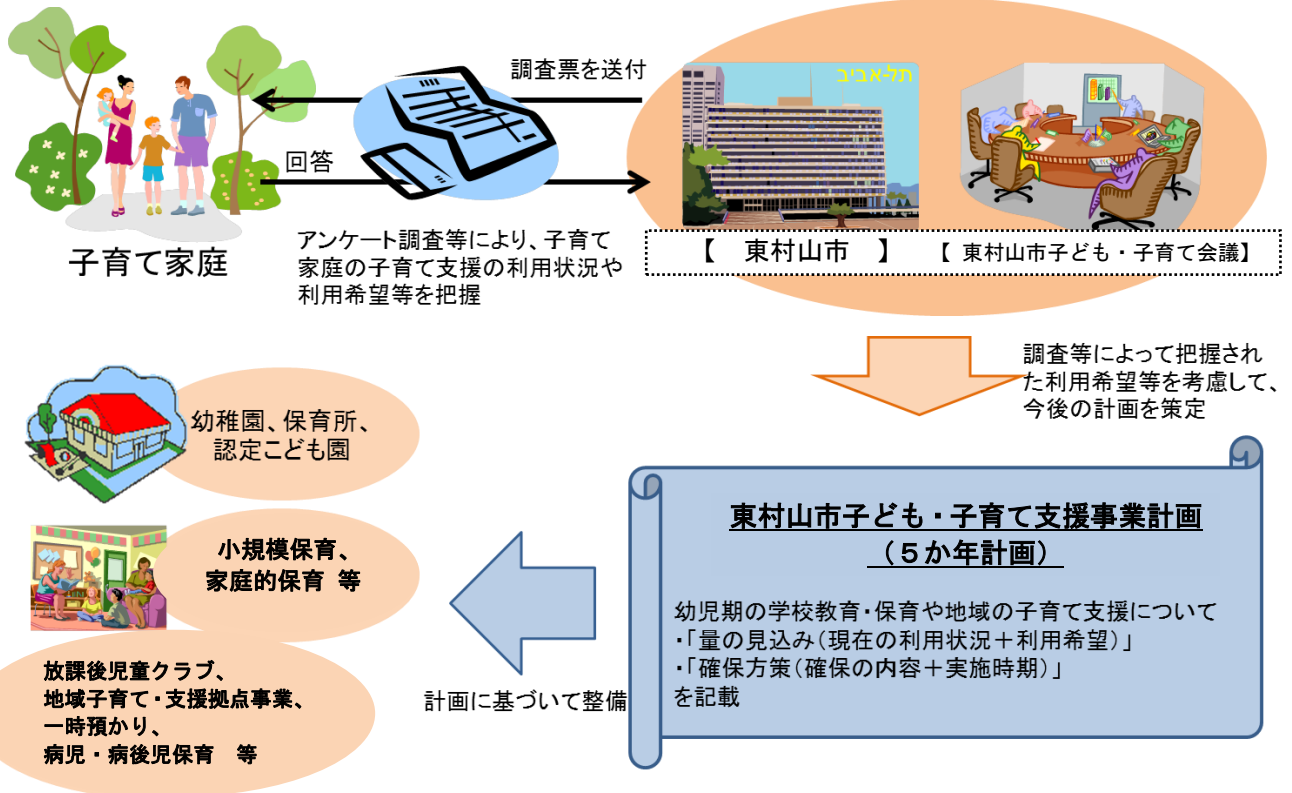
また、この制度は、以下のような考え方に基づいています。

- 子ども・子育て支援新制度は、急速な少子化の進行、家庭・地域を取り巻く環境の変化に対応して、子どもや保護者に必要な支援を行い、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会を実現することを目的としています。
- 子どもの成長においては、乳児期におけるしっかりとした愛着の形成（アタッチメント）（※1）を基礎とした情緒の安定や他者への信頼感を築いていくこと、幼児期における他者との関わりや基本的な生きる力の獲得、学童期における心身の健全な発達を通じて、一人ひとりがかけがえのない個性ある存在として認められるとともに、自己肯定感（※2）を持って育まれることが重要です。子ども・子育て支援新制度は、社会全体の責任として、そのような環境を整備することを目指しています。
- 子ども・子育て支援は、以上のような考え方をもとに、保護者には子育てについての第一義的責任があることを前提としつつ、保護者が子育てについての責任を果たすことや、子育ての権利を享受することが可能となるような支援を行うものです。  
地域や社会が保護者に寄り添い、子育てに対する負担や不安、孤立感を和らげることを通じて、保護者が自己肯定感を持ちながら子どもと向き合える環境を整え、親としての成長を支援し、子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを感じるような支援を目指しています。

（※1）愛着の形成（アタッチメント）：「この人といれば安心だ」という気持ちは、乳児期からつくられていくという意味です。この時期のおとな（親や育てる方）との出会いが人間形成の基礎を作っていきます。

（※2）自己肯定感：「自分は大切な存在だ」、「かけがえのない存在だ」と考えられる心の状態のことです。幼少期だけでなく、学童期、青年期においても大切なことです。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



用語の定義

この調査票における用語の定義は以下のとおり

- 幼稚園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- 保育所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- 認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- 子育て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- 教育：問14までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問15以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

お住まいの地域についてうかがいます

問1 お住まいの町として当てはまる番号に○をつけてください。

- |         |         |          |         |
|---------|---------|----------|---------|
| 1. 本町   | 2. 久米川町 | 3. 秋津町   | 4. 青葉町  |
| 5. 恩多町  | 6. 萩山町  | 7. 栄町    | 8. 富士見町 |
| 9. 美住町  | 10. 廻田町 | 11. 多摩湖町 | 12. 諏訪町 |
| 13. 野口町 |         |          |         |

封筒の宛名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます

問2 宛名のお子さんの生年月日をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字)

平成   年   月 生まれ

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数  人 末子の生年月 平成   年   月 生まれ

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親      2. 父親      3. その他 (      )

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 配偶者がいる      2. 配偶者はいない

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに      2. 主に母親      3. 主に父親      4. 主に祖父母      5. その他 (      )



問9-2 問9で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的・精神的な負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約が大きく心配である
4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発育にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他（ ）

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. いる／ある ⇨ 問10-1へ      2. いない／ない ⇨ 問11へ

問10-1 問10で「1. いる/ある」に○をつけた方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる相手は、誰（どこ）ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                 |                      |
|-----------------|----------------------|
| 1. 祖父母等の親族      | 2. 友人や知人             |
| 3. 近所の人         | 4. 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 5. 保健所・保健センター   | 6. 保育士               |
| 7. 幼稚園教諭        | 8. 民生委員・児童委員         |
| 9. かかりつけの医師     | 10. 市役所の子育て関連担当窓口    |
| 11. 子ども家庭支援センター | 12. その他（ ）           |

問11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。



宛名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます

問 12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親【父子家庭の場合は記入は不要です】当てはまる番号1つに○をつけてください。

<p>1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である</p> <p>3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない</p> <p>4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である</p>	<p>⇒ (1) -1へ</p>	
<p>5. 以前は就労していたが、現在は就労していない</p>		<p>⇒ (2)へ</p>
<p>6. これまで就労したことがない</p>		

(1) -1 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時間
-------	----------------------	---	-------	----------------------	----------------------	----

(1) -2 (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

\*自営業などで通勤を要しない方は、「家を出る時刻」は「勤務に入る時刻」、「帰宅時刻」は「勤務を終える時刻」でお答えください。

家を出る時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時	帰宅時刻	<input type="text"/>	<input type="text"/>	時
--------	----------------------	----------------------	---	------	----------------------	----------------------	---

(2) 父親【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、  
育休・介護休業中ではない
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、  
育休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、  
育休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、  
育休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまで就労したことがない

⇒ (2) -1へ

⇒ 問14へ

(2)-1 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が、一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

1週当たり  日  日 1日当たり   時間

(2)-2 (2)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず(例)08時~18時のように、24時間制でお答えください(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字)。※自営業などで通勤を要しない方は、「家を出る時刻」は「勤務に入る時刻」、「帰宅時刻」は「勤務を終える時刻」でお答えください。

家を出る時刻   時   時 帰宅時刻   時   時

問13 問12の(1)または(2)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問14へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

(2) 父親

- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望があり、実現できる見込みがある
- フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）への転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）の就労を続けることを希望
- パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

問 14 問 12 の (1) または (2) で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 15 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態  
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）  
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）  
→1週あたり  日 1日あたり   時間

(2) 父親

- 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）
- 1年より先、一番下の子どもが   歳になったところに就労したい
- すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい  
→希望する就労形態  
ア. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）  
イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）  
→1週あたり  日 1日あたり   時間

**宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況  
についてうかがいます。**

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的にご利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問15-1に示した事業が含まれます。

問15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 利用している ⇒ 問15-1へ      2. 利用していない ⇒ 問15-5へ

問15-1 問15-1～問15-4は問15で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんは平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. 幼稚園<br/>(通常の就園時間の利用：秋津、麻の実、久米川、<br/>暁星、精心、多摩みどり、しらぎく、まりあ、美住、<br/>南台、市外の幼稚園)</p> <p>3. 認可保育所<br/>(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県<br/>等の認可を受けたもの：第一～第七、つぼみ、<br/>久米川、花さき、東たいてん、ふじみ、わくわく、<br/>りんごっこ、つばさ、ほんちょう、八国山、<br/>青葉さくら、市外の認可保育所)</p> <p>5. 家庭的保育<br/>(保育者の家庭等で子どもを保育する事業：ことり<br/>保育室・ひまわりママ、保育ママ：宮下・田中・平川・<br/>志村)</p> <p>7. 認証保育所<br/>(認可保育所ではないが、東京都が認証した施設：空飛ぶ<br/>三輪車、りんごっこ駅前保育園、空飛ぶ三輪車秋津保育所、<br/>ソラスト東村山、いづみ愛児園、あいあい保育園、りんごっ<br/>こ久米川駅前保育園、市外の認証保育所)</p> <p>9. 居宅訪問型保育<br/>(ベビーシッター等の保育者が子どもの家庭で保育<br/>する事業)</p> <p>11. 1～10に該当しない施設、サービス等<br/>施設名 ( )<br/>サービス等 ( )</p> | <p>2. 幼稚園の預かり保育<br/>(通常の就園時間を延長して預かる事業<br/>のうち定期的な利用のみ)</p> <p>4. 認定こども園<br/>(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設：東村山<br/>むさしの認定こども園(東村山むさしの幼稚園、<br/>ひがしむらやまほいくえんしがいにんていえん<br/>東村山むさしの保育園)、市外の認定こども園)</p> <p>6. 事業所内保育施設<br/>(企業が主に従業員用に運営する施設)</p> <p>8. 定期利用保育施設<br/>(パートタイム勤務等の保育ニーズに対応した、都独自の保育<br/>事業施設：たんぼほ保育園、みゆき保育所、幼児教室すず<br/>め、ひまわり保育室)</p> <p>10. ファミリー・サポート・センター<br/>(地域住民が子どもを預かる事業)</p> |
|--|--|

問15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、口内に具体的な数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。時間は、必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

(1) 現在	1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(	<input type="text"/>	時～	<input type="text"/>	時)
(2) 希望	1週当たり	<input type="text"/>	日	1日当たり	<input type="text"/>	時間	(	<input type="text"/>	時～	<input type="text"/>	時)

問15-3 現在、主に利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。  
1.～14.のうち1つに○をつけてください。

1. 本町	2. 久米川町	3. 秋津町	4. 青葉町
5. 恩多町	6. 萩山町	7. 栄町	8. 富士見町
9. 美住町	10. 廻田町	11. 多摩湖町	12. 諏訪町
13. 野口町	14. 他の市町村		

問15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由として当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3. 子育て（教育を含む）をしている方が就労予定がある／求職中である
4. 子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5. 子育て（教育を含む）をしている方が病気や障害がある
6. 子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7. その他（ <input type="text"/> ）

問15-5 問15で「2. 利用していない」に○をつけた方にかたがたうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてもっとも当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. (子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため（ <input type="text"/> 歳くらいになったら利用しようと考えている）
9. その他（ <input type="text"/> ）

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの  
平日の教育・保育の事業として、小学校入学までの間「定期的に」利用したいと考える事業を  
お答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定  
の利用者負担が発生します。(別紙「施設・事業一覧」参照)

1. 幼稚園  
 (通常の就園時間の利用：秋津、麻の実、久米川、暁星、精心、多摩みどり、しらぎく、まりあ、美住、南台、市外の幼稚園)
2. 幼稚園の預かり保育  
 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所(20名以上)※対象年齢0～5歳  
 (都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの：おむね現在の認可保育園などのこと)
4. 認定こども園  
 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設：東村山むさしの認定こども園(東村山むさしの幼稚園、東村山むさしの保育園)、市外の認定こども園)
5. 認可保育所(19名以下)※対象年齢0～2歳  
 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの：新制度による認可保育所で、現在の認可外保育施設や認可保育所の分園のような小規模の施設のこと)
6. 家庭的保育  
 (保育者の家庭等で子どもを保育する事業：ことり保育室・ひまわりママ、保育ママ：宮下・田中・平川・志村)
7. 事業所内保育施設  
 (企業が主に従業員用に運営する施設)
8. 認証保育所  
 (認可保育所ではないが、東京都が認証した施設：空飛ぶ三輪車、りんごっこ駅前保育園、空飛ぶ三輪車秋津保育所、ソラスト東村山、いつみ愛児園、あいあい保育園、りんごっこ久米川駅前保育園、市外の認証保育所)
9. 定期利用保育施設  
 (パートタイム勤務等の保育ニーズに対応した、都独自の保育事業施設：たんぼぼ保育園、みゆき保育所、幼児教室すずめ、ひまわり保育室)
10. ファミリー・サポート・センター  
 (地域住民が子どもを預かる事業)
11. 居宅訪問型保育  
 (ベビーシッター等の保育者が子どもの家庭で保育する事業)
12. 1～11に該当しない施設、サービス等  
 施設名 ( )  
 サービス等 ( )
13. 特に施設やサービス等を利用する予定はない  
 (家庭で保育をしたい等)

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 現在お住まいの町

2 東村山市内だが、現在お住まいの町とは別の町

→希望する町を次から選んでください。(複数回答可)

A. 本町

B. 久米川町

C. 秋津町

D. 青葉町

E. 恩多町

F. 萩山町

G. 栄町

H. 富士見町

I. 美住町

J. 廻田町

K. 多摩湖町

L. 諏訪町

M. 野口町

3 他の市町村 ( )

4 利用希望はない

問 16-2 問16-1で「2」または「3」に○をつけた方にうかがいます。現在お住まいの町とは別の町または他の市町村を希望する理由は何ですか。当てはまる番号に○をつけてください。

1 母親または父親の職場に近い、または通勤経路にある

2 祖父母等の親族の家に近い

3 現在お住まいの町に利用したい施設がないまたは他の町に希望する施設等がある

4 その他 ( )

問 16-3 問16に記載された事業について、子どもや保護者からの相談に応じ、利用者に適したメニュー(事業や施設等)を利用できるような調整・案内を行うサービスがあったら利用してみたいと思いますか。当てはまる番号に1つ○をつけてください。

1 利用したい

2 利用したいとは思わない





問19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。①～⑪の事業ごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。(別紙)「事業内容」参照

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①ハローベビークラス	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
②乳児・幼児学級	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
③乳幼児子育て相談事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑤子ども家庭支援センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑥幼児相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑦教育相談	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑧東村山子育て情報誌 「なないろぼけっと」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑨赤ちゃんふらっと	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑩子育てひろば	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ
⑪子育て預かりサポート事業 「たんたんのうち」	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ

宛名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問20 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙「施設・事業一覧」参照）

※保育・教育事業とは、幼稚園・保育所・認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

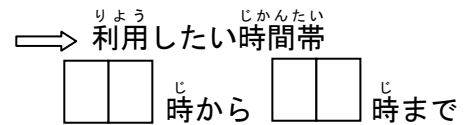
※現在利用している方も将来の希望頻度に応じてお答えください。

(1) 土曜日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい

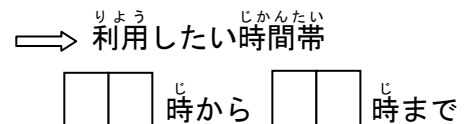


(2) 日曜日・祝日

1. 利用する必要はない

2. ほぼ毎週利用したい

3. 月に1～2回は利用したい



問20-1 問20の(1)もしくは(2)で「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎週ではなく、たまに利用したい理由に当てはまるものすべてに○をつけてください。

- |                    |                            |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 月に数回仕事が入るため     | 2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため |
| 3. 親族の介護や手伝いが必要なため | 4. 一時的なリフレッシュのため           |
| 5. その他 ( )         |                            |

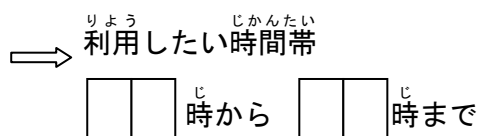
問21 幼稚園を利用されている方にうかがいます。

宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。（数字は一枠に一字）。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。（別紙「施設・事業一覧」参照）

1. 利用する必要はない

2. 休みの期間中、ほぼ毎日利用したい

3. 休みの期間中、週に数日利用したい



問21-1 問21 で「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

毎日ではなく、たまに利用したい理由に当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 週に数回仕事が入るため
2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため
3. 親等親族の介護や手伝いが必要なため
4. 一時的なリフレッシュのため
5. 子ども同士で遊ぶ機会をつくるため
6. その他 ( )

宛名のお子さんの病気の対応についてうかがいます。  
 (平日の教育・保育を利用する方のみ)

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方 (問 15 で1に○をつけた方) にかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。

この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 22-1 へ      2. なかった ⇒ 問 23 へ

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください (半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。数字は一枠に一字)。

1年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ク. その他 ( )	□□ 日

問 22-1 で「ア.」「イ.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても□内に数字でご記入ください (数字は一枠に一字)。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。(別紙「施設・事業一覧」参照)

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□ 日 ⇒ 問 22-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4 へ

問 22-5 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病院（小児科等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ ）

⇒ 問 23 へ

問 22-4 問 22-2 で「利用したいと思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看ってもらうのは不安
2. 市内に病児・病後児保育施設（※）がない
3. 他市の病児・病後児保育施設の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
4. 利用料が負担に感じる
5. 利用料等の情報がなく判断できない
6. 親が仕事を休んで対応するべき
7. その他（ ）

※病氣中または病氣からの回復後間もない子どもを保育する施設で東京都の定める基準を満たす施設（現在、市内に整備しています。） ⇒ 問 23 へ

問 22-1 で「ウ。」から「ク。」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看みたい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「ク」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

1. できれば仕事を休んで看たい ⇒   日
2. 休んで看ることは非常に難しい

問 22-6 問 22-5 のように思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない
2. 自営業なので休めない
3. 休曜日数が足りないので休めない
4. その他（ ）

あてな こ ふていき きょういく ほいくじぎょう しゅくはく ともな  
**宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴  
 いちじあず とう りよう  
 う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（数字は一枠に一字）

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり (私用など理由を問わずに保育所や子育て預かりサポート たんたんのうちなどで一時的に子どもを保育する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長し預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ (児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. 利用していない	

問24へ

問23で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問23-1 現在利用していない理由について、当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- |                            |                                    |
|----------------------------|------------------------------------|
| 1. 特に利用する必要がない             | 2. 利用したい事業が地域にない (利用したい事業： )       |
| 3. 地域の事業の質に不安がある           | 4. 地域の事業の利便性 (立地や利用可能時間・日数などがよくない) |
| 5. 利用料が負担に感じる              | 6. 利用料等の情報がなく判断できない                |
| 7. 自分が事業の対象者になる<br>のかわからない | 8. 事業の利用方法 (手続き等) がわからない           |
| 9. その他 ( )                 |                                    |

問24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。（数字は一桁に一字））。

なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（別紙「施設・事業一覧」参照）

問24-1へ

1. 利用したい	計 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
ア.私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
イ.冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
ウ.不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
エ.その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問25へ	

問 24-1 問 24 で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問 24 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 大規模施設で子どもを保育する事業（例：幼稚園・保育所等）
2. 小規模施設で子どもを保育する事業（例：地域子育て支援拠点等）
3. 地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他（ <input type="text"/> ）

問 25 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（数字は一枠に一字）。

	1年間の対処方法	日数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	ウ. イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	エ. 子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
	カ. その他（ ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. なかった		

問 25 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。⇒ア. 以外を選択した方は 問 26 へ

問 25-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------



宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校にあらがられてからの放課後の過ごし方をうかがいます。

⇒ 5歳未満の方は、問 30 へ

問 26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一律に一字）。

1. 自宅	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい
4. 児童館	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい
5. 放課後子ども教室（※1）	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕（※2）	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい 下校から <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> くらい

※1 「放課後子ども教室」…すべての子どもを対象として、安心・安全な子どもの居場所を提供し、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化芸術活動、地域住民との交流活動等の取組をします。

（大岱小学校・富士見小学校・秋津小学校・青葉小学校で実施）

※2 「放課後児童クラブ〔学童保育〕」

…東村山市では、「児童クラブ」または「育成室」と呼ばれています。

保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（別紙「施設・事業一覧」参照）

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 27 宛名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

※だいが先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい				
2. 祖父母宅や友人・知人宅	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい				
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい				
4. 児童館	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい				
5. 放課後子ども教室	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい				
6. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい	げこう 下校から	<input type="text"/>	<input type="text"/>	じ 時まで
7. ファミリー・サポート・センター	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい				
8. その他(公民館、公園など)	しゅう 週	<input type="text"/>	にち 日	<input type="text"/>	くらい				

※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「6.」に回答

問 28 問 26 または問 27 で「6. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)(2)それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	りよう 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	りよう 利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		<input type="text"/> 時から <input type="text"/> 時まで

問 29 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、口内に(例)09時～18時のように24時間制でご記入ください(数字は一枠に一字)。

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい		
3. 利用する必要はない		<input type="text"/> <input type="text"/> 時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで

すべての方に育児休業や短時間勤務制度など職場の  
両立支援制度についてうかがいます。

問 30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください(数字は一枠に一字)。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親 (いずれかに○)	父親 (いずれかに○)
1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)	1. 働いていなかった 2. 取得した (取得中である) 3. 取得していない ⇒ 取得していない理由 (下から番号を選んでご記入ください) (いくつでも)

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所(園)などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した
15. その他( )

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問30で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

⇒ 該当しない方は、問31へ

問30-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

(2) 父親

1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した

問30-2で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問30-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
2. それ以外だった

問 30-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月
-----------------------	------------------

(2) 父親

実際の取得期間 □ 歳 □ □ ヶ月	希望 □ 歳 □ □ ヶ月
-----------------------	------------------

問 30-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

(1) 母親

□ 歳 □ □ ヶ月
------------

(2) 父親

□ 歳 □ □ ヶ月
------------

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )             |                         |

② 父親

- |                        |                         |
|------------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 2. 配偶者や家族の希望があったため      |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 ( )             |                         |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

① 母親

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため  | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてる人がいなかったため | 6. その他 ( )                |

② 父親

- |                     |                           |
|---------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため  | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため   |
| 5. 子どもをみてる人がいなかったため | 6. その他 ( )                |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問 30-7 で「2. 短時間勤務制度を利用しなかった」と回答した方にうかがいます。

問 30-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

(1) 母親

- |   |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった                  |
| 2. 仕事が忙しかった                                 |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる               |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる               |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した                  |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した                        |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）            |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                   |
| 10. その他（ ）                                  |

(2) 父親

- |   |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった                  |
| 2. 仕事が忙しかった                                 |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる               |
| 4. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる               |
| 5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した                  |
| 6. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった |
| 7. 子育てや家事に専念するため退職した                        |
| 8. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）            |
| 9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                   |
| 10. その他（ ）                                  |

問 30-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 30-9 宛名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい      2. 1 歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 1 歳になるまで育児休業を取得したい      2. 1 歳になる前に復帰したい

問 31 東村山市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に 1 つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問 32 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、自由にご記入ください。


調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。